



2013年2月 第372号

# スズキ労連

2013年  
2月号

スズキ関連労働組合連合会  
静岡県浜松市南区増楽町20  
電話〈053〉447-3079  
発行人 古川正明  
編集人 渡部 豪

## 第63回中央委員会開催! 『2013年総合生活改善』 取り組み方針を決定



スズキ労連は1月25日(金)18:00より、SUN会館大ホールにて第63回中央委員会を開催しました。スズキ労連の各加盟組合から中央委員90名(内女性13名)・傍聴者49名(内女性3名)が参加し『2013年総合生活改善の取組方針(案)』の審議を行い、満場一致で決定しました。各組合では、今後この方針に基づいて職場討議を行い、独自の要求を組み立てていきます。

また、第2号議案「スズキ労連 旅費規程の一部改定について」審議を行い、関連会社規程とのバランスを考慮して規程を変更する事が満場一致で決定されました。第3号議案では、本年夏に施行予定の第23回参議院議員選挙必勝決議表明を行い満場の拍手にて承認され、すべての議案が可決されました。

最後は全員のガンバロウ三唱で締めくくりました。

### 《『2013年総合生活改善の取り組み』 具体的要求内容 =抜粋=》

#### 1.賃金引上げ

##### ①平均賃金要求

##### 賃金カーブ維持分確保

すべての組合は、現状の賃金水準を維持するため、賃金カーブ維持分確保を大前提とする。尚、賃金改善分については、生産性向上に向けて懸命に取り組む組合員の努力・成果、賃金実態を踏まえた格差・体系の是正等を重視し、明確な額で要求する。

##### ②個別ポイント絶対水準要求

- ・現行の**ポイント賃金水準**を基準とし、賃金改善分については、各組合の判断により設定。
- ・各組合は、以下の目指すべき水準を参考に自社に合った水準への引き上げを目指す。

基準Ⅰ 285,000円 基準Ⅱ 251,000円 基準Ⅲ 236,000円

##### ③企業内最低賃金協定の締結

18歳……154,000円以上

##### ④年齢別最低補償賃金

- ・各組合は、以下の目指すべき水準を参考に自社に合った水準への引き上げを目指す。

20歳 159,000円 25歳 178,500円 30歳 212,000円  
35歳 235,000円 40歳 253,500円 45歳 262,500円

#### 2.年間一時金

##### ①月数

年間5ヶ月以上を基準とする。最低でも昨年獲得実績以上。

##### ②要求基礎

要求の基礎は、賃金引上げ後の基準内賃金とする。

##### ③最低保障制度

最低保障制度を確立することとし、水準は40%以上を基本とする。

#### 3.労働時間短縮

##### ①所定労働時間1952時間未達組合は、その達成に向けて取り組む。

##### ②有給休暇取得向上に取り組む。

##### ③36協定の年間特別延長時間の引き下げ。

##### ④改正労働基準法では適用猶予とされている中小企業の月間60時間超の割増率引き上げに取り組む。

##### ⑤労働時間に関する取り組みの基盤整備を推進。

#### 4.社会的役割を踏まえた取り組み

##### ①法改正への対応を着実に進め、非正規労働者について、

コンプライアンスの点検を徹底。

##### ②企業内最低賃金協定の締結・水準の引き上げ。

##### ③非正規労働者の雇用のあり方と生産変動への対応を労使で共有。

#### 5.政策制度課題への取り組み

##### 【労連/単組が行う活動】

- ・自動車総連作成(発信) ツールを活用した組合役員、組合員への政策理解の促進。
- ・連合/地方連合等、上部団体の活動への参画。

##### 【組合員一人ひとりが行う活動】

- ・重要な政策への理解を深める。

#### 【取り組み日程】

- 要求書提出  
スズキ労組 2月13日(水)  
スズキ労組以外 2月20日(水)
- 統一交渉日  
第一回目 2月20日(水)  
(第二回目以降は交渉ゾーンを設定)
- 回答指定日  
業種ごとの課題を整理した上で、部品製造・輸送部門は3月内決着を、販売部門は4月内決着を基本に取り組む。

2013年総合生活改善の取り組み「スローガン採択」  
守るんよ、おぼくの働く仲間の職場!  
築くんよ、安心な生活!

## 古川会長 挨拶(要旨)



本日の中央委員会は、2013年春の取り組みの方針を決定する場と同時に、大きな時代の変化の中でみんなの力で安心の未来を切り開いていこうという決意を確認していく場としましょう。

### 取り巻く環境

リーマンショックに端を発した現在の情勢は、未だ先行きが見えず、デフレ下での経済成長は停滞が続いています。震災後の復興需要によって一時的に景気が下支えられた時期はあったものの、エコカー補助金など内需拡大に向けた政策が上期で終了したことや、政府債務問題を抱える欧州経済の低迷に加えて、新興国の経済成長の鈍化も鮮明となり様々なリスクが高まっています。スズキ連結の業績を見ても、為替影響や欧州での売上減少などによる減益要因を、国内四輪車の販売増加や原価低減などによる増益要因で吸収し、前年同期と比べ増益となりました。現在の為替は1ドル90円前後と若干円安基調になりましたが、長引いた超円高によりスズキ労連加盟組合においても働く職場が海外に移転している状況にあると感じています。

### 春の取り組みに向けて

このような状況の中、本取り組みは組合員の雇用を守り、賃金の底割れを防ぐという重要な意味を持つ取り組みになります。組合員の暮らしをさらに守るという観点を含め、「人への投資」というところから賃金交渉の取り組みを進めていきたいと思えます。また、賃金一時金と並ぶ第3の柱である極めて重要な取り組みと位置付けている年間所定労働時間の短縮ですが、昨年も10単組で1日8時間を短縮することになりました。1952時間がメーカーの所定内時間でありますので、その時間にあと1日というところまで近づいた状況にあります。あと1日ではありますが、その1日をめぐり厳しい交渉が予想されます。この点は労連として共闘を組み、日々積み重ねた努力を訴え、前進をさせたいと考えています。

### 政策制度・自動車関係諸税の取組み

昨年行われた衆議院選では、自民党が政権を握ることになりましたが、我々が支援する民主党は大変な逆風下にあります。中央委員会後の決起集会にもありますが、なぜ民主党を応援しないといけないのか、昨今の自民党の政策についても今後見えてくると思います。一昨日、三党合意で行われるはずだった自動車関係諸税の負担の軽減についても結論が政府税制改正大綱によって出ましたが、自民党が政権をとった中で三党合意はほぼ反故にされており、消費税アップに伴う自動車取得税の減税のみになりそうな気配です。公平な税制を実現するためには、我々の支援する民主党議員を増やす活動をしていかななくてはけません。40年続いた自民党政権が民主党政権に変わった時に、互いに慣れない与党、野党であり政権運営に混乱があったかと思いますが、その中でも民主党は「コンクリートから人へ」と公共事業やハコもの行政から人への給付へのシフトを打ち出し、様々な政策を実施しました。しかしながら、マスコミの報道も少なく良い政策についてはなかなか評価がされていません。これから出てくる自民党の施策を見ていけば民主党がいかに私たち働く者の目線で政策を行おうとしていたかが分かります。

### 最後に

この中央委員会、並びに定期大会を職場の皆さんにスズキ労連としてメッセージを伝えることのできる貴重な場と考えています。毎年変化する経済状況や会社状況、そしてスズキグループを取り巻く環境や課題を労働組合として働く者の立場で真剣に捉えながら、安心な生活に向けて運動の方向性を示し、議論していくことは極めて大切なことと思っています。私たち労働組合の役割は、どんな環境においても安全と助け合いを基本として、働き甲斐のある働き方、経営のチェック機能と提言活動、職場のコミュニケーションという組合の持つ基本部分を守っていくことと捉えています。職場のやりがいやモチベーションを高め、持続的な生活の安定と企業の発展に向け取り組んでいくことが必要です。新たな時代を捉え、スズキ労連全体の知恵と力で生活を守り高めていくための活動として、また、希望ある社会づくりのためにみんなで元気に新しくチャレンジしていきましょう。皆様のご支援とご協力をお願いします。執行部を代表しての挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願い致します。

## 【報告承認事項】(報告者)

- ①第41期中間活動経過報告 (小杉事務局長) 拍手にて承認  
 ②第41期中間会計決算報告 (堀副事務局長) 拍手にて承認  
 ③第41期中間会計監査報告 (谷口会計監査人) 拍手にて承認



小杉事務局長



堀副事務局長



谷口会計監査人

## 【議件】(提案者)

- ①2013年総合生活改善の取り組み方針(案) (光田中執) 満場一致で承認  
 ②スズキ労連 旅費規定の一部改訂について (小杉事務局長) 満場一致で承認  
 ③第23回参議院議員選挙必勝決議表明の件 (秋場副会長) 拍手にて承認



光田中執



秋場副会長

## 【各委員の皆さん】(☆印は委員長)(敬称略)

- 議長 長：金子孝枝(スズキ労組高塚支部)、牧野正人(スズキ部品秋田労組)  
 資格審査委員：☆太田賢司(スズキ労連中執)・鈴木章文(スズキ労組磐田支部)・  
 梅田幸生(小楠金属・熱処理労組)・藤田一義(スズキ新潟販売労組)  
 議事運営委員：☆長野壮一(スズキ労連中執)・馬淵浩之(スズキ部品富山労組)・  
 末松辰憲(岐阜スズキ販売労組)・中嶋兼章(スズキ化成労組)  
 書記：古橋侑里香(小楠金属・熱処理労組)・青葉美奈子(スズキ労連)  
 司会：中島大輔(スズキ労連中執)

## スズキ労連 初の女性議長

議長団 左：金子孝枝(スズキ労組高塚支部)  
右：牧野正人(スズキ部品秋田労組)

## スズキ労連 第1回女性委員会

～スズキ労連として初開催～

スズキ労連 第41期の運動方針である女性参画の推進に向け、新たに「女性委員会」を設置し、2013年1月18日(金)にスズキ労連 第1回女性委員会を初開催しました。各組合から21名の女性に参加頂きました。

はじめは、初対面で緊張をされていた委員さんも、グループワークで意見が出始めると笑顔が出て、日頃感じている意見や要望が次々に出てきました。今回参加を頂いたみなさんから「日頃感じていることを、他の委員の方と意見交換が出来て大変良かった。今回、参加してよかった。」など前向きな感想を頂きました。一方で「組合の活動があまり分からない、活動参加への声がかからない」などの意見もあり、労連として参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。次回は8月の開催を予定しています。

## 内容

- 古川会長挨拶
- 組合活動とは～女性委員会が必要な理由～(小杉事務局長)
- グループワーク
  - ①組合のイメージ
  - ②女性が組合活動に参加しにくい理由
- グループワーク総括(根木会長代行)
- 田口顧問、徳光顧問紹介・挨拶
- 閉会挨拶(後藤副会長)



# スズキ労連 決起集会を開催



古川会長



しんば賀津也  
参議院議員(静岡選挙区)



自動車総連組織内議員  
なおしま正行参議院議員

中央委員会終了後、決起集会を開催し、直嶋参議院議員としんば参議院議員も応援に駆けつけて頂き、加盟14単組の力強い決意表明と「いそざき哲史」の決意が示された。集会の終わりには「いそざき哲史」の必勝に向けてガンバロウ三唱を行い、最後の最後までがんばることを全員で誓った。



決意を表明する  
加盟14組合の執行委員長



## いそざき哲史 決意表明

次期参議院議員選挙における必勝決議の採択、スズキ労連加盟単組の力強い決意表明に心より感謝申し上げます。そして「いそざき哲史」とその支援者拡大活動に対して多くの組合役員、組合員のみなさまにご協力頂いていることに心から御礼申し上げます。

1年前の中央委員会にて、円高をはじめとする逆風の中、国内の雇用と事業基盤の維持・強化に奮闘している職場の仲間のために、そして組合員とその家族の将来と安心のために「職場原点の思い」を活動の基軸にして頑張るとの決意を表明させて頂きました。私は自動車産業の基盤の維持・強化を最優先課題と捉え、全力を尽くしてこの課題に取り組んでいきます。

私たちが将来に対して希望を持って働くことができるようにするためには、私たち自身が社会に対し「自らの思い」をしっかりと主張し、行動に移していくことが重要であります。私はその先頭に立ち、国政の場との懸け橋となるよう人生をかけて取り組んでいく所存です。

いよいよ決戦の年となりました。今後も日本全国を駆け回り、私の思い、決意を一人でも多くの方に伝えていく活動に全力で取り組んでいきます。皆様の最後の最後までのお力添えをよろしく申し上げます。

職場原点、組合員と家族の将来の安心のために、国政の懸け橋となるよう取り組む「いそざき哲史」さんを最後までスズキ労連も全力で支援していきます。1人でも多くのご理解とご協力をお願いします。



今まで以上に女性にもご参加頂きました。

